

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ビジュアルアート専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
写真専門課程	写真学科	夜・通信	264時数	160時数	
映像・音響専門課程	放送・映画学科	夜・通信	264時数	160時数	
	映像音響学科	夜・通信	264時数	160時数	
	音響芸術学科	夜・通信	264時数	160時数	
	声優学科	夜・通信	264時数	160時数	
	ミュージシャン学科	夜・通信	264時数	160時数	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ビジュアルアーツ専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	大学院教授(現職)	2018年4月1日就任 2021年8月4日任期満了	経営戦略の立案・助言
非常勤	株式会社取締役(現職)	2017年11月15日就任 2022年4月1日任期満了	ガバナンスの強化
非常勤	株式会社取締役(現職)	2017年11月15日就任 2021年11月15日任期満了	ガバナンスの強化

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ビジュアルアーツ専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。	
授業計画書の公表方法	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 授業評価は5段階で評価され、単位の認定が行われる。 ・成績は5段階で評価を行う A=優秀 B=良い C=標準 D=不可(出席50%以上) E=不可(出席50%未満) ・GPA評価制度により客観的に評価を行う。またGPAの評価はオリエンテーション時に学生へ公表、保護者へも郵送する。(令和2年度より実施予定) Gポイント変換: A=4 B=3 C=2 D=1 E=0 算出:(教科のGPA評価ポイント×単位数)の全教科合計÷総単位数(履修登録単位の総数) ・前期終了時、後期終了時に個人面談を行い、学習状況の把握を行う。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間(1920単位時間)を履修しており、108単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。 学生、保護者へは入学時オリエンテーション及びホームページで公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	冊子:学習の手引き ホームページ http://www.visual-arts-osaka.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ビジュアルアーツ専門学校
設置者名	学校法人 Adachi 学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
財産目録	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
事業報告書	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
監事による監査報告（書）	http://www.visual-arts-osaka.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		写真専門課程	写真学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	768 単位時間	単位時間 /単位	1152 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		151人	23人	3人	19人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（1920 単位時間）を履修しており、108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。
学修支援等
担任による個人面談を定期的に行い、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みを答えている。就職に関してはキャリアセンターと担任が就職・デビュー活動をサポートし、必要に応じて保護者を交えた三者面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (83.9%)	0人 (0%)	39人 (83.1%)	8人 (17%)
（主な就職、業界等） 【広告関連】 人物撮影、商品撮影 【営業写真】 プライダル、キッズ（お宮参り等）、スクールフォト、工業写真、家族写真、観光写真 【その他】 施工写真、舞台撮影、食品サンプル撮影、作家、ビデオグラファー、施工写真			
（就職指導内容） 1年次よりキャリアガイダンスを実施。授業内では、就職活動に関する必要書類の作成を実施。また産学連携授業として、業界企業とのコラボ授業をおこなっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 写真撮影技術全般、暗室技術（フィルム現像、印画紙プリント）、画像処理ソフトを使用した画像データ制作、画像修正技術、写真表現作品制作 など Photoshop®検定、Illustrator®検定（希望者）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127人	14人	11.0%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、経済的事情、メンタルを含む疾病ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生相談室を設置してカウンセラーによる心のケアを行っている。 担任による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。 進級時奨学金による学費サポート。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	映像・音響 専門課程	放送映画学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	512 単位時間	単位時間 /単位	1408 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
400人	200人	7人	3人	14人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（1920 単位時間）を履修しており、108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。
学修支援等
担任による個人面談を定期的に行い、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みに答えている。就職に関してはキャリアセンターと担任が就職・デビュー活動をサポートし、必要に応じて保護者を交えた三者面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70人 (88.6%)	0人 (0%)	67人 (94.3%)	3人 (4.3%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>【TV制作/技術/CM/映画/動画】 ディレクター、カメラマン、タイムキーパー、映像編集、音声、リサーチ、MA、監督 録音スタッフ、照明スタッフ、演出、VE、ビデオエディター、CG・VFXコンポジター</p> <p>【ブライダル】 ・カメラマン、編集、企画</p> <p>【企業VP】 ・カメラマン、編集、企画</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>1年次よりキャリアガイダンスを実施。授業内では、就職活動に関する必要書類の作成を実施。 また産学連携授業として、業界企業とのコラボ授業をおこなっている。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>放送業務用機器によるビデオ撮影技術、照明技術、録音技術、編集技術 ほか 4Kデジタルシネマ機材を使った映画撮影技術、脚本制作、演出技術 ほか テレビ・映画作品制作・発表 JPPA映像音響技術処理認定試験 足場組立特別教育 陸上特殊無線3級 色彩検定2級、3級（希望者）</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
165人	12人	7.3%
<p>（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、経済的事情、メンタルを含む疾病ほか</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 学生相談室を設置してカウンセラーによる心のケアを行っている。 担任による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。 進級時奨学金による学費サポート。</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	映像・音響 専門課程	音響芸術学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	648 単位時間	単位時間 /単位	1272 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	191人	6人	3人	26人	29人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（1920 単位時間）を履修しており、108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。
学修支援等
担任による個人面談を定期的を実施し、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みに答えている。就職に関してはキャリアセンターと担任が就職・デビュー活動をサポートし、必要に応じて保護者を交えた三者面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
79人 (86.8%)	0人 (0%)	71人 (89.9%)	8人 (10.1%)
（主な就職、業界等） 【コンサート、TV】 ・コンサート照明、PA、運営企画、営業、グッズ販売、TV 照明、舞台音響・照明、アーティストマネージャー、ファンクラブ運営、ディレクター 【レコーディング】 ・エンジニア、ブッキングスタッフ、ライブレコーディング、MA エンジニア 【ブライダル】 ・照明、PA			
（就職指導内容） 1年次よりキャリアガイダンスを実施。授業内では、就職活動に関する必要書類の作成を実施。また産学連携授業として、業界企業とのコラボ授業をおこなっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） JAPRS サウンドレコーディング技術認定試験、 JAPRS Protocols 技術認定試験 JPPA 映像音響技術処理認定試験 足場組立特別教育 第2種電気工事士試験 舞台機構調整技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
202人	18人	8.9%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、経済的事情、メンタルを含む疾病ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生相談室を設置してカウンセラーによる心のケアを行っている。 担任による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。 進級時奨学金による学費サポート。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	映像・音響 専門課程	映像音響学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	640 単位時間	単位時間 /単位	1280 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	39人	2人	1人	8人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（1920 単位時間）を履修しており、108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。
学修支援等
担任による個人面談を定期的を実施し、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みに答えている。就職に関してはキャリアセンターと担任が就職・デビュー活動をサポートし、必要に応じて保護者を交えた三者面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24人 (88.9%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 【アニメーション/ゲーム/TV】 ・音響効果、MA ミキサー、映像編集、アニメ音響監督、アフレコエンジニア、ゲームサウンドクリエイター、サウンドエンジニア、アート・映像ディレクター、 【ブライダル】 ・映像編集 【その他】 ・環境音楽			
（就職指導内容） 1年次よりキャリアガイダンスを実施。授業内では、就職活動に関する必要書類の作成を実施。また産学連携授業として、業界企業とのコラボ授業をおこなっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） JAPRS サウンドレコーディング技術認定試験、 JAPRS Protocols 技術認定試験 映像音響処理技術社資格認定試験			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	2人	4.8%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、経済的事情、メンタルを含む疾病ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生相談室を設置してカウンセラーによる心のケアを行っている。 担任による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。 進級時奨学金による学費サポート。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	映像・音響 専門課程	声優学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	384 単位時間	単位時間 /単位	1536 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	95人	6人	2人	20人	23人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（1920 単位時間）を履修しており、108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。
学修支援等
担任による個人面談を定期的の実施し、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みに答えている。就職に関してはキャリアセンターと担任が就職・デビュー活動をサポートし、必要に応じて保護者を交えた三者面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 (88.7%)	0人 (0%)	42人 (89.4%)	5人 (10.6%)
（主な就職、業界等） 【プロダクション/劇団】 アニメ声優、MC、司会、アイドル声優、ボイスタレント、映画俳優、舞台俳優、ナレーター、ラジオパーソナリティ、バックダンサー、振付師、モデル、TV・CMタレント			
（就職指導内容） 授業内では、デビュー活動に関するオーディション用紙の作成を実施。また産学連携授業として、業界企業とのコラボ授業やプロダクション説明会を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） アテレコ、演技、歌唱、ダンス、ナレーションなどの技術と表現力			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107人	6人	5.6%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、経済的事情、メンタルを含む疾病ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生相談室を設置してカウンセラーによる心のケアを行っている。 担任による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。 進級時奨学金による学費サポート。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	映像・音響 専門課程	ミュージシャン学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1920 単位時間	512 単位時間	単位時間 /単位	1408 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	39人	1人	1人	13人	14人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 年度開始前に、カリキュラム会議にて、学校長、学務責任者、学科長および授業担当者で2年間の教育スケジュールに基づき、カリキュラムを作成し、各授業の到達目標、方法、評価のポイントを定めた後、授業担当者はシラバスの作成を行い、学科長、学校長の許可を得る。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績は前期、後期の終了前に、試験・課題・実技試験・出席状況・授業態度などを考慮し授業担当者が、定められた各教科の評価ポイントに基づき成績を判定する。判定結果については学科長が確認を行い、最後に学校長が確認した上で単位を認定する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定方針については年度開始前に行われるカリキュラム会議にて、各学科の特性、業界で必要とされる知識、スキルを踏まえ卒業要件が決定される。 卒業規定として学則に定める履修時間（1920 単位時間）を履修しており、108 単位以上を取得している事、及び学費を全納している事。
学修支援等
担任による個人面談を定期的を実施し、インターネットメールなども併用して、学生の疑問や悩みに答えている。就職に関してはキャリアセンターと担任が就職・デビュー活動をサポートし、必要に応じて保護者を交えた三者面談も行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (88.6%)	0人 (0%)	15人 (93.8%)	1人 (6.7%)
（主な就職、業界等） 【レーベル】 アーティスト活動、サウンドクリエイター、各種イベント演奏者、楽曲提供、音楽講師 サポートミュージシャン、スタジオミュージシャン、ツアーミュージシャン、バックコーラス、 バンドマン、作詞家、アレンジャー、ローディー、レコーディングエンジニア			
（就職指導内容） 1年次よりキャリアガイダンスを実施。授業内では、デビュー・就職活動に関する必要書類の作成を実施。また産学連携授業として、業界企業とのコラボ授業をおこなっている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 楽器演奏、ボーカル、楽曲制作、ステージ音響、照明、様々なメディアを使ったセルフプロデュース など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	3人	7.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更、学業不振、経済的事情、メンタルを含む疾病ほか		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生相談室を設置してカウンセラーによる心のケアを行っている。 担任による日々の学生状況の把握及び保護者との連携。 進級時奨学金による学費サポート。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
写真学科	180,000 円	940,000 円	220,000 円	
放送映画学科	180,000 円	940,000 円	255,000 円	
音響芸術学科	180,000 円	940,000 円	255,000 円	
映像音響学科	180,000 円	940,000 円	255,000 円	
声優学科	180,000 円	940,000 円	255,000 円	
ミュージシャン学科	180,000 円	940,000 円	255,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.visual-arts-osaka.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校運営、教育活動、学生支援、財務などを評価項目とし、企業等委員を中心とした 8 名からなる評価委員による学校関係者評価委員会を年 1 回開催して評価をいただいている。評価結果に関しては校長より教育部門、財務部門、広報部門の各部門に伝え、改善すべき点があれば誠意を持って改善にあたっている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 タック	4 年	企業等委員
株式会社 東通インフィニティー	4 年	企業等委員
株式会社 東通企画	4 年	企業等委員
有限会社 ちゆるんカンパニー	4 年	企業等委員
株式会社 エムシー企画	4 年	企業等委員
株式会社 ネイブ	4 年	企業等委員
大阪府立金剛高等学校	4 年	高校教諭
小笠原写真事務所	4 年	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.visual-arts-osaka.ac.jp		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.visual-arts-osaka.ac.jp
--

